

一般財団法人関西情報センター

の紹介



一般財団法人関西情報センター

会長

森下 俊三

1970年の大阪万博の年に関西における情報化の推進拠点として設立されたのが「財団法人関西情報センター」です。その後、ダウンサイジングやマルチメディア化、インターネットの普及などの情報化の変遷を乗り越え、その時代に合った様々な情報化支援事業・産業活性化事業を展開してきました。近年、情報化が進展し情報化社会が成熟してきたことにより当財団の役割が大きく変わっており、今後は「情報化の推進」から「情報化社会の進展に伴い顕在化する新たな課題への対応」に重点を移していくことが重要だと思えます。

1 経緯

当財団は、1970年に当時の通商産業省の認可を得て、大阪府、大阪市、関西財界企業が一体となって設立された、情報化の推進、システムの開発・普及を目的とする情報系シンクタンクです。

設立当初は、大阪万博で使用した汎用機を移設し、統計分析やシミュレーションなどの計算処理の他、欧米への経営情報システムの視察団の派遣、システムエンジニアの育成などの事業を実施していました。

インターネットの黎明期には、ネットワークの相互接続に関わった他、ネットワーク技術者の育成やショッピングモールの実証実験の事業を実施してまいりました。

2002年には、財団法人関西産業活性化センターとの一部統合を経て、財団法人関西情報・産業活性化センターに名称変更し、産業クラスター計画関連事業など中小企業の振興などにも取り組んできました。

そして、2012年4月に、法人制度改革に伴い一般財団法人関西情報センターにリニューアルしました。

2 事業紹介

(1) 調査研究・普及啓発事業

① e-KANSAI レポート

関西地域における情報化の実態を様々な角度から調査し、経年的に実施してきた調査結果と合わせて、政策支

援やビジネス展開に有効なレポートとして情報発信しています。

② IT シンポジウム — Infotech —

情報通信分野における最新の技術やビジネスにおける課題や制度の中から関心の高いテーマを選定し、シンポジウム「インフォテック」を開催しています。

③ 関西 CIO カンファレンス

企業が経営戦略と一体化した効果的な IT 投資を実施するために、CIO の設置に向けた組織改革、CIO による業務改革などの重要性について議論していただく円卓会議とシンポジウムを実施しています。

④ ビジネスイノベーションセミナー

中小・中堅企業や自治体における IT 戦略の再構築や新たなビジネス展開に資するため、ICT 利活用によるビジネス・イノベーションに繋がる技術動向を提供するセミナーを実施しています。

(2) ビジネス・政策支援事業

中小企業における IT 経営の支援事業として「e-相談所」、情報家電企業とベンチャー企業のビジネスマッチングを支援する「DCP」、製品マニュアルやライターの技術向上を支援する「テクニカルライターの会」などの事業を実施しています。

(3) 情報化推進事業

地方自治体におけるスポーツ施設の予約システムを

ASPにて提供しています。また、ビジネスにおいて安心で安全な情報の交換を実現出来る「セキュアサポートサービス」事業も手掛けています。

(4) 社会システム支援事業

健康保険組合における事務の効率化やコスト削減を目的として、システム開発、システム運用支援など総合的なシステムソリューションサービスを提供しています。

(5) 情報化基盤整備事業

近畿地域におけるプライバシーマークの審査期間（指定機関）として、プライバシーマークの審査・認定業務を実施し、個人情報の保護に取り組んでいます。

設立当初から考えると、汎用機の時代からインターネットとスマートフォンの時代へと随分社会的環境も変

わりましたが、より安全で安心の出来る情報化社会の実現へ向けて、果たさねばならない使命も徐々に進化していると考えています。

2012年4月に一般財団法人へ移行しましたが、全国的にも特色のある情報系シンクタンクとして、今後も地域の発展と産業の活性化のために活動していく所存です。

一般財団法人関西情報センター
会 長 森下 俊三
専務理事 田中 行男
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目3番1-800号
大阪駅前第一ビル8階
TEL 06-6346-2441
<http://www.kiis.or.jp/>



写真1 インフォテック2012